

メール

にしろか

「一人ひとりを大切に、違いは宝物」元気で笑顔あふれる学校

NO.17



豊中市立西丘小学校「学校だより」

令和元年（2019年）12月3日発行

「メールにしろか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。 <http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/>

気がつけば12月に入りました。一年はあっという間ですね。特に今年は例年通りが全く通用しない一年となりました。現在、全国で新型コロナウイルスの感染者が急増する中、大阪府でも黄色信号のレベル2にひき上がり赤信号になりつつあります。豊中市内の小中学校でも毎日のように児童や教職員の罹患が報告され、学校臨時休業や学級閉鎖になっています。子どもの感染の多くは家庭内感染で、無症状が半数近くを占めています。

※児童本人または家族に風邪症状がある場合は、風邪症状が治るまで登校せずにご家庭で様子を見るようにお願いします。（この場合は欠席扱いにならず、「出席停止」扱いとなります。学校への連絡や詳細については電話にてお願いします。）

学校では、これまで以上に朝の健康観察を丁寧に行うことや、手洗いをこまめにする、換気をしっかりとすること、加えて加湿を行う等の感染予防を徹底していきたいと思います。おうちでの毎朝の検温と健康チェック、マスク着用と予備マスクの用意のご協力を引き続きお願いします。



©2019 熊本県くまモン

（お知らせ）本年度の卒業式は、令和3年（2021年）3月23日（火）です。

大変連絡が遅くなり申し訳ありません。教育委員会より正式に日程決定の連絡がありました。本年度の卒業式についても昨年と同様新型コロナウイルス感染予防対策として、時間を1時間半程度に短縮した形で、参列は卒業生、教職員、保護者のみとさせていただきます。在校生（5年生）の参加についてはまだ検討中です。参列については各家庭 保護者の方2名までとし、幼児や在校生の参列は不可とします。

本校では卒業式を小学校生活最後の授業（儀式的行事）として行っています。

お子様の晴れの舞台ではありますが、当日の緊張に加えて、慣れない和服や豪華な衣装で体を締め付けられ、式の途中で気分を悪くして保健室で休むということがあります。

当日の服装につきましては、なるべくお子様が心地よく過ごせるように、華美になりすぎないように配慮をお願いいたします。



来年度の入学式は、令和3年（2021年）4月7日（水）午前となっています。

あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう

にしおかしょうがっこうの子 

にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ころを きたえる 子

化石を見つける出前授業で～大発見

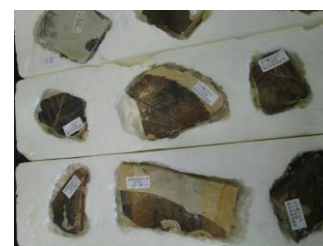
毎年6年生で理科の学習として「化石を見つける出前授業」を行い、子ども科学教室の吉田眞一先生にきてもらっています。今年も11月5日と6日各クラス2時間ずつ授業をしました。吉田先生から「地層に閉じ込められた木の葉等は、昔のままの形で残り、やがて石にかかわって地層の中で化石になる」という説明をうけて、栃木県那須高原で採掘された石を地層に沿ってハンマーでたたいて割っていきます。一回目でラッキーに化石を見つける子もいますが、粉々になっても一つも見つけれない子もいます。そんな中なんと昆虫化石を発見した子どもがいました。吉田先生も興奮気味に「これは珍しい化石かもしれないので、預かって調べてみます。」と言われ、鑑定に出されました。塩原化石教育プロジェクトの代表の方から、これは「ハネカクシの仲間」であると思われ、塩原からは正式に報告されていないので、学術的価値のある大変貴重な化石だというお返事をもらいました。今後この化石については、専門的な研究を行い、発見者の名前と共に、栃木県の「木の葉化石園」に永久保存されることとなりました。



吉田先生の話熱心に聞いています。



ゴーグルをつけて、地層にそって割っていくと木の葉の形の化石が出現しました。化石が出て来たらその周りを慎重に砕いていきます。



木の葉の化石の見本

塩原化石教育プロジェクトHP（アクセスしてみてください。）
<http://science.yochisha.keio.ac.jp/shiobara/index.html>

6年生体験学習 11月30日

6年生は広島島の修学旅行の代わりに、京都へ行ってきました。紅葉は終わりかけでしたが、天気も良くぽかぽかで絶好の遠足日和でした。お昼からは上着をバスの中に置いて見学しました。

到着してまず初めは清水寺からです。清水の舞台はまだ少し工事中でしたが、タブレットで写真を取ったり、俳句を詠んだり、下の様子を覗き込んだりしていました。その後はグループで楽しそうに買い物しながら産寧坂を通過して、円山公園まで歩きました。次はお楽しみのお弁当タイム。（修学旅行から急に遠足になった気分でした。）知恩院を横に見ながらバスに乗り、二条城に移動しました。二条城の中はグループ活動の予定でしたが、コロナ感染拡大の影響で二の丸御殿はクラスで揃って見て回りました。今ちょうど幕末の歴史を勉強しているというので、ここで大政奉還が行われたのかと実感できたのではないのでしょうか？「葵と菊の御紋」を初めて知った子もたくさんいました。

修学旅行には行けませんでした。が、あまり学校で行かない京都へ行って、楽しい一日を過ごしてきました。バスの運転手さんにも、観光客の人たちにも「あいさつがきちんとできるしっかりした子どもたちですね。」と褒めてもらいました。



タブレットが入りました

一人一台 iPad が 6 年生に貸与されました。学校では教室内の充電庫に入れてあり、必要に応じて取り出して使います。来週自宅に持ち帰りますので、『保護者の方へのお願い事項』をご覧ください。「確認書」をご提出ください。卒業まで自分用として使うタブレットです。大切に扱ってほしいと思います。1～5 年生については、1 月末の納品を予定しています。

火曜日からさっそく授業で、使っていました。

まずは、タブレットの入り方から。

自分の ID パスワードは細長い紙をパウチにして個人に配っています。

社会では、調べ学習で活用してから、歴史人物新聞を作成する。

英語では、ドリルを使い、発音を聞きながら問題をクリアする。

理科では、先生からの課題に対して答えを入力する。等々

自分でどんどん進んでいく子と、先生に一つひとつ尋ねながらやっていく子様々ですが、学校では、「とにかく最初は何回でも触る。失敗を恐れずに触る。わからなければ友達に聞く、先生に聞く、フリーズした場合は消してホーム画面を出す。」といった具合に恐れずにどんどん触ってもらっています。触れば触るほど子ども達は私たちの想像以上に使いこなせるようになっていくように思います。



- ・清水で 見下ろすもみじ 蝶のよう
- ・清水の 舞台でのぞむ 紅葉かな
- ・紅葉たち 社引き立つ 名脇役
- ・美しい 映える清水 紅葉越し
- ・京の街 歩く我らに まうもみじ
- ・紅葉山 上に重なる 笠雲が
- ・コロナ禍で 心に響く もみじの葉
- ・秋の日の 舞い散る紅葉 また会おう
- ・山景色 もみじの赤で はなやかに
- ・清水の 舞台と京都の 街並みと
- ・清水の 舞台の下で 紅葉散る



清水寺で一句

